

狭山茶需要創出促進事業実施業務委託に関する質問に対する回答

【狭山茶特設サイトの運営及び狭山茶販売促進イベントの開催について】

Q 1 : イベント開催時の狭山茶（原料として）は提供いただけますか？または購入になりますか？

A 1 : 購入でお願いいたします。予算の範囲内でイベント内容等を御検討くださいますようお願いいたします。

Q 2 : 販促イベント時にテスト販売する場合は産地の生産者の参加をお願いすることは可能でしょうか？

A 2 : 可能です。県が情報提供いたします。

【狭山茶を使ったレシピコンテストの企画・運営について】

Q 3 : 実施時期が令和4年7月下旬～10月下旬までの期間である理由はありますか。

A 3 : コンテスト終了後に、応募レシピを狭山茶の知名度向上や需要の創出に向けて活用するため、令和4年7月下旬～10月下旬を実施時期として想定しております。なお、より効果的なレシピコンテストの開催に向けて、適切な実施時期等がありましたら、御提案いただき、県と協議の上で実施することも可能です。

Q 4 : 過去にご協力いただいた学校を教えてくださいませんか。

A 4 : 過去2年間、募集の案内を送付した学校は下記のとおりです。

	令和3年度	令和2年度
女子栄養大学	○	○
服部栄養専門学校	○	○
大妻女子大学	○	○
埼玉県調理師専門学校	○	○
埼玉県立越谷総合技術高等学校	○	○
埼玉県立新座総合技術高等学校	○	○
私立清和学園高等学校	—	○
埼玉県立熊谷農業高等学校	○	○
埼玉県立杉戸農業高等学校	○	○
埼玉県立秩父農工科学高等学校	○	○
埼玉県立児玉柏陽高等学校	○	○
埼玉県立いずみ高校	○	○
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	○	○
埼玉県立羽生実業高等学校	○	○

Q5：過去にはどのような内容を実施されましたか。実施内容、結果を教えてくださいませんか。可能でしたら、実施報告書を開示いただけませんか。

A5：令和3年度、2年度に実施した内容及び結果は次のとおりです。また、実績報告書からレシピコンテストの内容を抜粋したものを別添のとおり公開します。

(1) 令和3年度

募集については、チラシを5,000部作成し、関係機関に配布するとともに、試供品2,000セットを料理教室に配布するなどして参加を促しました。応募については、特設サイトに応募フォームを作成しました。募集期間は令和3年7月1日～9月15日とし、応募レシピ数は229点でした。

審査については、一次審査（書類審査）、二次審査（実食審査）を実施し、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別審査員賞1点を選定しました。

レシピの活用については、入賞4点と一次審査通過6点のレシピを狭山茶特設サイトで紹介するとともに、リーフレットを5,000部作成の上、関係機関や茶業者に配布し、狭山茶のPRに使用しています。

(2) 令和2年度

募集については、チラシのデザインを作成し、Instagramで投稿するとともに県から関係機関に募集案内を通知しました。

応募については、狭山茶を使ったアレンジレシピを作り写真に撮ってInstagramに投稿してもらう方法としました。募集期間は令和2年12月14日～令和3年1月24日とし、応募レシピ数はプロ部門20点、一般部門64点の計84点でした。

審査については、Instagramの「いいね」数の上位を選定し、書面審査を経て部門ごとに3点、審査員特別賞1点の入賞レシピを選定しました。

レシピの活用については、入賞作品7点のレシピを県ホームページに掲載し、狭山茶のPRに活用しています。